

徒然科学的問答

超新星爆発っ!?

「10月初旬にNASAとMITが超新星がもうじき観測されるという予測を立てたのだが、まだ超新星の爆発を観測したという話は聞かない」

「もうじきというのはやっぱ天文単位なにもうじきなのでしょうか？ 1億年とか10億年とか」

「いや、10日から20日」

「なんと！ ものすごく短いすな！ でもそろそろ20日じゃないのかな？」

「うん、まあ誤差も含めてこれが掲載される頃にはきつときつと爆発が観測されている筈。

ガンマ線バーストを観測している以上、NASAの理論が正しいなら既に爆発している。可視光になって見えるのを待っているだけ」

「そっかー、じゃあ夜空にぴかーっと輝くのを楽しみにしよう♪」

「残念！」

「？」

「超新星といっても遠くなら肉眼で見えることも出来ないくらいの輝きしかない。おそらく今回のもその程度のものになるでしょう。画期的なのは超新星爆発の可視光が到達する前に爆発があることを捕らえたということ」

「むー、平安時代にあった超新星爆発みたいに昼間でもその輝きを見ることが出来たくらいがよかったのに」

「なににせよ、これが読まれている時、超新星爆発のニュース、届いてますか？」

参考：NASA (http://www.nasa.gov/vision/universe/watchtheskies/grb_supernova.html)

113番目だけど新発見らしい

「重い話ですが・・・」

「理化学研究所と言えばノーベル化学賞の野依さんのおられるところですね。ということは113番で重いとくれば原子番号のなにかだ」

「超重元素である超アクチノイド元素で元素番号113のものを発見、というか作った」

「これはなにがすごいのですか」

「うーん、端的に言えば、元素名に始めて日本にちなんだ名が付くってことかな。理研が見つけたからリケニウムってのが有力らしいが、ジャポニウムという話もある。また重元素の110以降はその数値をそのまま順に読んで最後に音便しつつ”イウム”をつけるというルールもある」

「それはなんか適当だなー、113だとどうなるの？」

「1は”ウン”、3は”トリ”だからウンウントリウムということになる。そもそもその名前付けで昔からもめることが多いからこうなっているものの、理研は名前つける気まんたんだ」

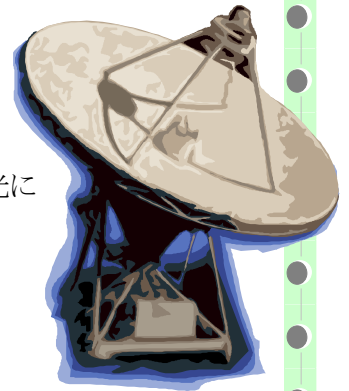
「どれも微妙」

「なににせよ今回できたの1個だけなのでもっとたくさんできるようにならないと命名権はもらえません」

「むー、元素の周期表も最近の教科書にはないってことだし、なかなか厳しいなー」

「基礎科学というのは日本では不遇なのです」

参考：理化学研究所 (http://www.riken.go.jp/r-world/info/release/press/2004/040928_2/index.html)



おわり

20041022



Maki Rouel